

美術館へ行こう！ ～美術館あれこれ～

平成12年7月24日～9月22日

今回の常設展示のテーマは「美術館へ行こう！」です。

「そんなことを言われても…」と言うなかれ。「美術館」とひとくちに言っても、その実態はさまざま。展示してあるものも、絵画だけでなく、工芸、デザイン、ポスターなどいろいろです。椅子やコップ、洋服のような、日常生活に関係するものが展示されていることもあります。

今回は、「美術館」にまつわるさまざまな資料と、当館が所蔵する多くの図録類から、選りすぐりのものを展示します。

最近、日本の各地に増えてきている美術館。あなたの街にも、きっとあるはずです。

さあ、今度の休日には、美術館へ行こう！

展示資料一覧

<>内は当館請求記号

展示会図録

1. 日展図録 改組第1-2回
東京 美工出版 1969-〔1970〕 <K16-10>
2. 京都の100年・パリの100年 京都市自治100周年記念 京都・パリ友情盟約締結40周年記念特別展
Cent ans de Paris et de Kyoto-portrait de la ville
〔京都〕 京都市美術館 1998.9 2冊 ホルダー入り <KC16-G1643>
会期：1998年9月29日～10月25日ほか 主催：京都市ほか

3. パリ国立オペラ座衣裳展 Costumes de l'Opera de Paris
東京都庭園美術館編 宮田陽子訳 [東京] 読売新聞社 c1997 <KD585-G3>
会期・会場：1997年6月14日～8月17日 東京都庭園美術館
4. びいどろ・ぎやまん サントリー美術館所蔵 特別展
岐阜 岐阜市歴史博物館 1988 <KB16-E107>
会期：昭和63年4月23日～5月29日
5. 冷泉家の至宝展 京の雅・和歌のこころ
冷泉家時雨亭文庫, NHK編 [東京] NHK c1997 <K16-G221>
会期・会場：平成9年8月30日～10月12日 東京都美術館ほか
共同刊行：NHK プロモーション
6. ヨーロッパのタピスリー
国立西洋美術館編 [東京] 東京・パリ友好都市提携記念事業実行委員会 c1984
<KB16-567>
「ヨーロッパのタピスリー展」カタログ 主催：東京都ほか
会期・会場：1984年8月28日～9月30日 東京国立博物館
7. スウェーデンのテキスタイル・アート Swedish textile art
京都国立近代美術館 [ほか] 編 [京都] 京都国立近代美術館 c1987
<KB16-758>
共同刊行：群馬県立近代美術館, 世田谷美術館
会期・会場：1987年6月30日～8月9日 京都国立近代美術館ほか
8. 椅子の美術館
埼玉県立近代美術館編 [浦和] 埼玉県立近代美術館 c1989 <KB16-E322>
9. バウハウス Bauhaus
東京 講談社 1971
「バウハウス50年展」図録 主催：東京国立近代美術館, ドイツ連邦共和国
<K16-14>
会期：1971年2月6日～3月21日
10. 手塚治虫展
東京国立近代美術館編 [東京] 美術出版デザインセンター(製作) c1990

<YP14-1378>

会期・会場：1990年7月20日～9月2日 東京国立近代美術館ほか

11. 英国鉄道ポスター展 ポスターで巡るイギリス 150年の歴史と文化

英国国立鉄道博物館〔ほか〕編 小池滋監修 <KC524-G19>

〔東京〕 東日本鉄道文化財団 1997 共同刊行：宇都宮美術館ほか

12. こんどはことばの展覧会だ

水戸芸術館現代美術センター企画 東京 三修社 1994.11 <K16-E737>

13. 森村泰昌「空装美術館」—絵画になった私

Morimura Yasumasa : self-portrait as art history

森村泰昌〔著〕 東京都現代美術館, 朝日新聞社編 <KC16-G2083>

〔東京〕 朝日新聞社 c1998 ポーチ入 付属資料：鏡1枚

会期・会場：1998年4月25日～6月7日 東京都現代美術館ほか

14. イタリア・ボローニャ国際絵本原画展 1999

〔東京〕 〔東京都〕板橋区立美術館 1999.7 <KC511-G1>

会期・会場：1999年7月10日～8月22日 板橋区立美術館ほか

15. 1990年代の日本の絵本展 22人の画家・100点の絵本原画

ちひろ美術館, 安曇野ちひろ美術館編 東京 ちひろ美術館 c1999 <KC16-G66>

会期・会場：1999年10月8日～11月30日 安曇野ちひろ美術館ほか

共同刊行：安曇野ちひろ美術館(長野県松川村)

美術館についての文献

*知る人ぞ知る、美術館界の業界誌ともいえる隔月刊誌です。

16. 「特集：博物館や美術館とは何だったのか？ そして、誰のためにあったのか？」

『ドーム』39号 日本文教出版 1998.8 <Z11-B152>

*美術館は「博物館法」に則ってつくられています。

17. 現代美術館学

並木誠士, 吉中充代, 米屋優編 京都 昭和堂 1998.6 <K3-G86>

*これも知る人ぞ知る(?), 国立国会図書館の出版物。少々手前味噌ではありますが…。
こんな書誌もつくっていますよ。

18. 「特集：国立国会図書館蔵戦前期美術展覧会関係資料目録」石渡裕子

『参考書誌研究』50号 国立国会図書館専門資料部 1999.2 <Z21-291>

*お次は、美術館を支えている仕事人たちについてご紹介いたしましょう。

19. 「特集：キュレーターの仕事」

『美術手帖』685号 美術出版社 1994.3 <Z11-44>

20. 美術館学芸員という仕事 (仕事シリーズ 6)

日比野秀男編著 東京 ペリかん社 1994.2 <K3-E189>

*美術館を支えている人々は学芸員だけではありません。大切な美術品を梱包し輸送する、という仕事もあります。

21. 美術展の黒子

長谷川正夫著 東京 日経事業出版社 1982.8 <K3-101>

*どんなに慎重に美術品を扱っていても… 自然災害から、美術品を守ることはできないものなのでしょうか。

22. 阪神大震災美術館・博物館総合調査報告 2

全国美術館会議事務局阪神大震災美術館・博物館総合調査編集員編
倉敷 全国美術館会議 1996.5 <EG77-G14>

*アートマネジメントという言葉を知っていますか。
美術館も、経営したり、将来の展望を持つということが必要です。美術館ボランティアを受け入れているところもあるようです。

23. アートマネジメントと文化政策 我が国の文化政策の将来構想に関する研究

(NIRA研究報告書 no.970107)
東京 総合研究開発機構 1998.3 <K271-G12>

24. 21世紀に向けた美術館の在り方について 報告

〔東京〕 21世紀に向けての美術館の在り方に関する調査研究協力者会議 1997.6

<K3-G106>

25. 私も美術館でボランティア

淡交社美術企画部編 京都 淡交社 1999.12

<K3-G133>

*お次は一転して、美術館のハード面を。いろいろな、美術館建築があります。
美術館の外側だけ見ても、楽しい！

26. 世界の美術館建築

ジャスティン・ヘンダーソン著 木下哲夫訳 京都 淡交社 1999.2

<KA321-G10>

*個々の美術館では、団体史や年報などを出版しているところが多いようです。今回はその中から1点。

27. 「ひまわり」とともに歩んだ新たな10年 安田火災東郷青児美術館20年史

〔東京〕 安田火災美術財団 1997.6

<K3-G76>

*展覧会を観たあとは、気に入った作品のポスト・カードでも買いたくなる… というのが人情でしょう。美術館の側も、けっこう力を入れているみたいです。

28. 世界のミュージアムグッズ (コロナ・ブックス 17)

東京 平凡社 1996.11

<K3-G42>

*ちょっとここで、現実の美術館から遠ざかって、お話のなかで美術館がどのように描かれているのかを覗いてみましょう。では、懐かしの児童文学から。

主人公・クローディアの家出先はメトロポリタン美術館。家出をしたくない子でも、「こんなすてきな冒険してみたい！」と思うはず？

29. クローディアの秘密

E. L. カニグズバーグ文と絵 松永ふみ子訳 東京 岩波書店 1969 <Y7-1746>

*現実の美術館も「子どもたちにぜひ来てほしい！」と思っています。
もちろん、家出ではなく、ね。

30. 『ピコラ』13号

横浜美術館子どものアトリエ 1992.10

<Z32-B80>

*美術館のガイドブック的なものは、たくさん出版されています。
最後はずばり、「美術館へ行こう」、で締めることにいたしましょう。

31. 美術館へ行こう 世界美術館旅事典

長谷川智恵子著 東京 求竜堂 1993.7 <K3-E181>

参考文献

*以下の資料は展示されていません。

美術館とは何か ミュージアム&ミュゼオロジー

ダニエル・ジロディ, アンリ・ブイレ著 松岡智子訳 <K3-E150>

文化の「発見」 驚異の部屋からヴァーチャル・ミュージアムまで

吉田憲司著 (現代人類学の射程) 東京 岩波書店 1999.5 <G121-G78>

「博覧会の美術館」菅村亨

『塵界』9号 兵庫県立歴史博物館 1997.3 <Z8-3144>

戦後美術展略史 1945-1990

浅野徹一郎著 東京 求龍堂 1997.3 <K3-G66>

ポンピドゥー・センター物語

岡部あおみ著 東京 紀伊國屋書店 1997.11 <K3-G69>

学芸員のひとりごと 昨今美術館事情

増田洋著 増補新装版 東京 芸艸堂 1997.10 <K3-G83>

「特集：21世紀に向けた美術館・博物館活動の推進」

『文化庁月報』342号 ぎょうせい 1997.3 <Z1-124>

「『美術館』財団化の可能性(特集:『公社委託』の新段階と学ぶ権利)」
谷岡重徳

『月刊社会教育』450号 国土社 1993.10 <Z7-287>

「百貨店内の美術館における展示の問題」高島慶子

『Mouseion』30号 立教大学 1984.10 <Z21-67>

「博物館・美術館の情報化の現状」戸塚圭介

- 『住生総研レポート』95号 住友生命総合研究所 1997.4 <Z3-2625>
- 文化を事業する (丸善ライブラリー)
清水嘉弘著 東京 丸善 1997.11 <DH1-G242>
- 新しいミュージオロジーを探る 西武美術館からセゾン美術館へ
セゾン美術館編 <K3-E119>
- 「セゾン美術館よどこへ行く」 加藤義夫
『日経アート』116号 日経BP社 1998.6 <Z11-1865>
- 「美術館へ行こう(特集:子どもと美術)」
『美術手帖』545号 美術出版社 1985.6 <Z11-44>

国立国会図書館 03-3581-2331(代)

ホームページアドレス <http://www.ndl.go.jp>

■国立国会図書館 ■□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□■03(3581)2331■